

外国につながる子どもの学習支援ボランティア研修会 実施報告(公開版)

区分:報告

内容:2023 年度外国につながる子どもの学習支援ボランティア研修会を開催しました。

開催報告

2023 年度外国につながる子どもの学習支援ボランティア研修会 ～地域で共に子どもを支え、よりそうための支援を考えよう 2023～

<概要>

●目標:

- ・ 学習支援教室の活動を振り返り、子どもによりそった支援のための工夫・アイデアを共有する。
- ・ 子どもにとってよりよい環境を作るための具体的な実践事例や多様な支援者・支援機関等との連携事例から学ぶ。学習支援教室のボランティア活動を振り返り、子どもによりそって支援するための工夫やアイデアを共有する。
- ・ 支援者同士のつながり作り。

●日時:2023 年 12 月 13 日(水)、12月20 日(水) 9:30-12:00 全 2 回

●場所:第1回 オンライン開催(Zoom 使用)

第2回 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5 階 共用会議室

●対象:横浜市内及びその近郊で外国につながる子どもの学習支援をしている方

●講師他:

第 1 回:講師:浜田麻里さん(京都教育大学 教授)

第 2 回:講師:池内梨恵さん

(鶴見小学校所属/日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」日本語支援アドバイザー)

●参加者:第1回 24 名、第2回 22 名(延べ 46 名)



1回につき2時間半で全2回、計5時間の研修を行いました。第1回をオンライン、第2回を対面で行うことで、それぞれの開催方法の良さを生かした研修を目指しました。

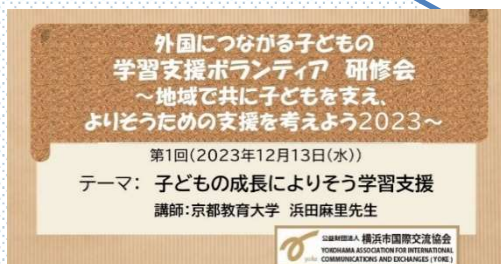
どちらの回もグループディスカッションを交えながら、学びました。

第1回研修会「子どもの成長によりそう学習支援」

浜田麻里さん（京都教育大学 教授）

第1回は、オンライン開催とし、関西地方から京都教育大学の浜田麻里先生を講師としてお招きしました。浜田先生は、文部科学省の外国人児童生徒教育アドバイザーや文化庁の委員等も務めておられ、日本語教育をめぐる最近の施策の動向や、私たちの活動と関連する施策について紹介していただきました。そして、「よりそう支援」について、「キャリア支援」、「アイデンティティ」、「居場所」等の視点からお話しいただき、「よりそう支援」に何が必要かを皆さんと検討しました。

*講師のお話



前半は、日本語教育推進法や日本語教育人材の役割、児童生徒等に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力の紹介の他、新たな制度である登録日本語教員などの情報を提供していただきました。後半は、講師の経験や具体的な事例を交えながら、キャリア教育や、アイデンティティ、居場所の役割等から、「よりそう支援」についてお話しいただきました。

*グループワーク



文化庁(2019)『日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改訂版』

前半で解説のあった「児童生徒等に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力(知識・技能・態度)」(文化庁2019)の中でどの項目が自分に当てはまるかを各自で考え、グループで「よりそう支援」として何が必要かを話し合いました。「複雑な事情を抱える多文化家族の背景を理解し、児童生徒等に寄り添おうとする」(態度(4))等、各項目を見ながら、「よりそうためには特に『態度』が大切」、「『知識』には自信がないが、『技能』や『態度』は、情熱を持っている」などの気づきや、自信のない項目についての工夫を共有しました。

後半では、子どもがことばのやりとりを通じて多様な背景をもつ自分を肯定的に理解できるよう「よりそう」ためにはどうすればよいのかについて話し合い、「子どもの話を丁寧に聞く」、「子ども自身が発表する機会を作る」など、参加者が実践している活動を共有しました。

参加者の声(アンケートより一部抜粋)

- 政策の動向や、外国人児童生徒等に対する日本語教育に必要とされる知識・技能・態度を踏まえた上で、学校と連携しつつ、地域の支援者の立場だからこそできることを確認できる時間でした。
- 国の制度や体制について、噂話程度にしか知らなかったのので、何を調べればよいかについて伺えて良かったです。
- 具体的な実践例などを聞いて、参考になった。横浜とは違った環境下での取り組みを知る機会はとても貴重で有意義だったと思う。

第2回研修会「横浜で学校と地域で共に支える支援」

講師:池内梨恵さん

(鶴見小学校/日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」
日本語支援アドバイザー)

第2回は、対面で行い、鶴見小学校の教員で日本語支援アドバイザーの池内梨恵先生にお越しいただきました。私たちが活動する横浜市の外国につながる児童生徒の現状や支援体制、「鶴見ひまわり」で行う日本語指導等についてお話を伺いました。後半では、学校が地域と連携して取り組んでいる例や子どもたちの声の紹介があり、これからやりたいことについてグループで話し合いました。

*講師のお話



横浜市教育委員会(日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」等)で行われている支援体制について説明があり、参加者との活発な質疑応答が行われました。

国際教室での学習の様子についてビデオ等も含めたわかりやすく具体的な紹介があり、講師の地域との連携への思いを伝えていただきました。

*グループディスカッション



2回のグループ活動では、意見を付箋紙に書きだし、模造紙に貼って共有しました。

前半は、現在横浜市で行われている支援体制について良いと思う点(「学校と同じ体験ができる」「仲間ができる」他)、もっと良くしたほうがいいと思う点(「もっと『ひまわり』を増やしてほしい」他)をグループで書きだし、よりよい体制につながる意見を出し合いました。

後半は、今回の研修で学んだことをふまえて「これから自分がやりたいこと」を書きだし、グループで話し合いました。「子どもたちのルーツについて学ぶ」、「保護者への声かけ」など、様々な「やりたいこと」を共有しました。



参加者の声(アンケートより一部抜粋)

- ひまわりや国際教室の存在を知らなかったので、今後広めていきたいと思いました。
- 講師の現場経験に基づく内容がとてもリアル感があった。
- 教材も使い方によっては子供が興味を持ってくれることがよく分かった。
- 教室の様子、教え方を拝見できて参考になりました。教え方だけでなく、地域との連携についても、もっと考えていきたいです。